



「プロ講師によるマンツーマン学習法で、合格まできめ細やかに指導します」と語る本部教務統括の可児さん。

## メデイカルラボ 可児 良友本部教務統括

### 3年連続合格者トップの医系予備校 今春、沖縄含め全国22校体制に

医系専門予備校としてトップの合格者を輩出するメデイカルラボ（名古屋市中村区名駅四・宮川幹生代表取締役）。開校から一〇年を迎え、今年四月には池袋、松山、鹿児島、沖縄の計四校が開校し計二二校体制に拡大。命を預かる有為な医師を目指す若者の明日を確実なものにするメデイカルラボの驚異の学習システムや未来像などを本部教務統括の可児良友さんに聞いた。

——二〇一四年度以来、医系予備校として三年連続、合格者数トップです。

**可児** 名古屋初の医系専門予備校として〇六年スタートし、一〇年。全国約二〇〇ある同系予備校の中で本校は一四年度三五一一人、一五年度四九〇人、一六年度七二五人の合格者を出しました。

本校はプロ講師によるマンツーマンの学習法で確実に教科の習得を実現し、目指す医学部の試験に合格するようきめ細かい指導を実施してきました。その結果だと思

います。

——もう少し詳しく教えてください。

**可児** 医学部は全国に八二ありますがそれぞれ難易度や配点も異なります。生徒の得手不得手もそれぞれ。一年間どういう教材、どういうスケジュールで授業・指導して受験に臨むまでに仕上げていくか。各大学の出題の癖や傾向などを分析する一方、生徒の能力も見極め、相性のいい大学を絞り込んでいきます。

年度初めに各生徒の面談後、一

週間の時間割を作るのですが双方に適した組み合わせや先生の手配は非常に大変です。私立医大だと試験科目は四科目。それぞれの科目で一年間同じ講師が担当します。例えば英語なら文法と長文の先生は違う先生が指導します。また、小論文や面接の授業も行います。

一週間のスケジュールは、月曜から土曜日まで朝九時から夜十時までで、授業は一回一五〇分の授業です。一五〇分というと長く感じますが、五〇分ずつ区切って間

に休憩一〇分ずつ挟んだ形になります。最初の五〇分では重要事項

や解き方を理解する「学び」、次の五〇分では、実際に問題を解いてみる「試し」、最後の五〇分では問題の解説や未習得の解説などの「習得」。大手予備校などの方的に教えるインプットだけでなく、アウトプットさせ、さらに教え直すという三段階で完全習得を目指します。それを個別ブース、ホワイトボードを使ったマンツーマン授業で実施します。これを高卒生なら午前午後の二回行いま